

平成6年度 2学期始業式式辞

大きな事件、事故もなく新しい学期を迎え、皆さんとこうして顔を合わせることができ大変嬉しく思います。夏休みはいかがでしたか？各々が様々な経験を通じて成長を感じることができたでしょうか。

1学期終業式で、挑戦について、皆さんに、こんな言葉を紹介したのを覚えていますか？

「われわれは月へ行くことを決めた。それが容易ではなく困難であるがゆえに。」ジョン・F・ケネディ大統領の言葉です。

この始業式でも、「挑戦」について、少し触れておきたいと思います。

今年の夏は、世界中が注目した一大イベント、パリオリンピックが開催されました。オリンピックは、選手たちが自らの限界に挑戦し、世界中の人々に感動を与える場です。今年も多くの選手たちが、我々に感動と勇気を与えてくれました。

100年ぶりに開かれたパリオリンピック。無観客での開催だった前回の東京大会にはなかった熱い声援が競技会場に戻る中、日本選手団は金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個、合わせて45個のメダルを獲得と素晴らしい活躍を見せてくれました。

この大会で特に印象的だったのは、日本男子バスケットボールチームのヘッドコーチ、トム・ホーバス氏が選手に語った次の言葉です。

「努力が結果に結びつくとは限らない

しかし、努力がなければ結果は絶対に生まれない」

この言葉は、日々の努力の重要性を改めて教えてくれます。

皆さんも、この2学期に入って、さまざまな挑戦があることでしょう。学業、部活動、そして自分自身との戦い。これらの挑戦に向き合う中で、時には思うような結果が出ないこともあるかもしれませんが、それでも諦めずに努力を続けることが大切です。

長年にわたる努力、失敗を振り返ることができる人は、最後には勝利を手
にすると信じています。

皆さんにとって、この学期が努力と挑戦の期間となることを心から願って
います。